

北海道立総合研究機構農業試験場報告

第 131 号

春まきパン用コムギ品種の栽培法による
収量・品質安定化に関する研究

平成 24 年 1 月

上 川 農 業 試 験 場

春まきパン用コムギ品種の栽培法による収量・品質安定化に関する研究*

博士（農学） 佐藤三佳子**

目 次

第1章	緒論	1
第 1 節	コムギの種類とその用途	1
第 2 節	製パン性と種子貯蔵タンパク質の質と量	1
第 3 節	春まきパン用コムギの品種と栽培法研究の経緯	2
第 4 節	本研究の目的	4
第2章	春まきコムギへの生育診断の応用	5
第 1 節	穂揃期における生育診断技術の開発	5
第 2 節	タンパク質含有率推定に適した測定葉位，測定時期の検討	12
第3章	栽培技術の高度化による品質安定化手法の開発	16
第 4 章	品種の生育特性に応じた栽培指針の構築	24
第 1 節	新品種「はるきらり」の窒素施肥法	24
第 2 節	播種期・播種量の差が生育・収量に及ぼす影響	31
第 3 節	開花期までの温度差が収量に及ぼす影響	37
第 5 章	総合論議	43
第 1 節	春まきパン用コムギの生育診断法	43
第 2 節	栽培技術の高度化による収量・品質安定化手法	44
第 3 節	栽培法による品質安定化の限界	46
摘要		47
Summary		49
謝辞		51
引用文献		53

*岩手大学大学院連合農学研究科審査学位論文

**北海道立総合研究機構上川農業試験場（〒079-0397 北海道上川郡比布町南1線5号）